



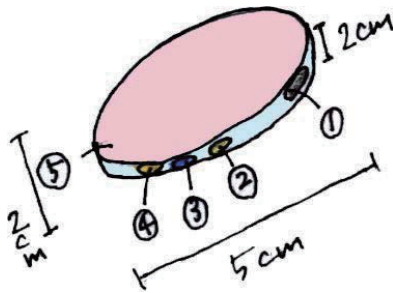
TITLE:

「雨の日は好きになれる傘」

高橋 璃江

私立潤徳女子高等学校

私は、雨の日は嫌いです。なぜかという、傘をさしても濡れて風がふけばもっと濡れます。そして、それに季節が入ると寒かったり暑かったりするのを嫌です。なので、雨の日は好きになれる傘がほしいと思いました。考えたイメージとしては、1枚の布が変幻自在に人の体にふんわりと薄い膜があるという感じです。もちろん、人の声はばっちり聞こえます。



①音声ボタン

→身長を言って長さ調整。2・3・4の名前を言うとその機能が使用できる。

②ノーマルボタン

→雨を防ぐだけ。特に他の機能はない。色は目に優しい黄緑色。

③夏用ボタン

→雨を防ぐほかに冷却機能あり、色は涼しげのある寒色。

④冬用ボタン

→上の同様、そして保温機能あり、色は暖かみのある暖色。

⑤柄

→傘にも柄があるのと同じに色んな柄があり、カスタムできる。

※音声ボタンに自転車ありと言うと自転車まで包みこめる。

コンパクトなので狭いところにも、持ち運びやすく布はしまえるので服が濡れることもありません。また音声ボタンをつけることによって、小さい子どもやご老人も使いやすくなります。台風などで壊れることもないのでゴミが減り、環境に優しくなります。そして、傘を持つことがないので自転車で傘さし運転が減り事故が減ります。また、色々と発展していけば布自体に柄があれば個性が出ていいなと思いました。

